

選手の用具（武器 - 用具 - 衣服）について

大会開催における安全基準資料として以下のことに留意し試合に臨むこととする。

・ 2010. 6. 13 付け 競技における事故防止・安全管理について

- ① ユニホーム上下 350N
- ② FIE 公認マーク付き半袖付プロテクター800N
- ③ FIE 公認マーク付きマスク 1600N

※コング以下の部についての武器等は、F I E 試合規則を準用することが望ましいが、この時期の選手は身体等の成長が著しく変化することを鑑み、最低限、F I E 公認マーク付きの 800N 半袖付・プロテクターを着用することを義務づける。

・ 2018. 7. 11 付け 胸部保護具及びマスクに関する規則について

- ① 胸部保護具(チェストプロテクター/メタル製や硬い素材製)の着用について。

m25-4 ジャケット

※女子選手は、プラスチック製チェストプロテクターを着用することを推奨する。その際は ソフトカバー付を推奨する

- ② マスクの着用について(二重の安全確保システム)

m25-7 マスク

- a. メタル・タング付きマスク
- b. メタル・タングを伴わないマスク

・ 2019. 9. 11 付け 電気サーブル用グローブに関する規定について

- ① FIE 公認サーブルグローブ・カブ付き (一体型)
- ② FIE 公認サーブルグローブ・カブなし+電気サーブル用カブ (分離型)

・ローカルルールの適用について

①剣の使用について、5, 6年生の部については5号剣以下、3, 4年生の部以下については3号剣以下を使用すること。(ブレードはF I Eの刻印がないものも可)

※ただし、エペ・サーブルについては剣の規定は特に定めないものとする。

②ボディーコードは透明プラグでなくても使用を可とする。

③ストッキングは、白色の膝の出ない長めのものを使用すること。

④ゼッケンは、縦15cm、横20cmの白布に、上段に姓、下段に所属(男子は黒字、女子は赤字)を明瞭に見える大きさに書き、後ろ足大腿部に付けること。

⑤フルーレ部において、メタルビブ付マスクの使用は5, 6年生の部のみ義務付けるものとする。3, 4年生の部以下については、メタルビブ付マスクの使用は任意とする。